別紙1

指定管理者のモニタリングシート

1，基本情報

確認年月日：令和3年11月10日

施設名	仁王地区活動センター		
住所	盛岡市三ツ割字更ノ沢26番地4		
指定管理者名	社会福祉法人　盛岡市社会福祉事業団	所管課名	市民協働推進課
指定管理料（年額）	9,409,802		
今回確認期間	令和　3　年　4　月　1　日 から令和　3　年　11　月　30　日 まで （　8 ヶ月間）		

2，業務の履行状況の確認について

（1）稼動実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		360	244
延べ利用者数	個人	38507	21022
	団体	3658	2186
主要事業開催回数	自主事業(共催事業含む)開催数合計	82	45
	内、自主事業(笑顔ひまわり)開催数	40	24
	内、自主事業(イキイキ親子)開催数	42	21

（2）管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し，これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか（一部の市民・利用者に対して，不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。）。	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物，外構，設備の修繕の履歴は整理，保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入，廃棄，修繕の記録について整理，保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
管理能力の確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

（2）管理運営実績（続き）

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は，特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について，記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について，適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について，適時に報告がなされているか。	適・要改善

3，サービスの質の確認について

（1）サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への応対のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内，説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
苦情要望	利用者からの苦情・要望に対し，適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について，市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4，指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

仁王地区福祉推進協議会並びに三ツ割自治会と連携し，世代間交流を推進した。
地元町内会や学校に協力してもらい事業の周知を図り，利用者拡大に努めた。
施設内の案内表示を手づくりで追加し利用者にわかりやすく表示している。
施設や備品の修繕等を職員でできるものは実施し，施設の安全管理について迅速な対応を行った。
センター主催事業を通年型にしており，利用者の増加に努めている。
仁王地区老人クラブ連合会と連携し，高齢者の健康増進に努めた。
新型コロナウイルス感染症対策も手探りの中，おおむね順調に対処することが出来た。
利用者への声掛けを大切にしており，利用者との信頼関係の構築に努めている。

5，モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
開所7年目となった現在、施設の管理運営及び地域との連携、市民及び地元住民へのサービス提供等も、コロナ過の中ではあるが、順調に浸透しているところである。 また、全国的課題である少子高齢化、核家族化等に対応した取り組みも主催事業として継続的に実施し、定着・充実してきている。このことを含め、市民及び地元住民のニーズにも概ね応えているものと捉えている。 さらに、新たな情報収集をしながら、市民及び地元住民の方々に快く利用していただけるような、安全安心な施設運営、サービス提供を実現していきたい。	仁王地区福祉推進協議会等との連携し，事業の周知等を行い，自主事業も通年型にするなど工夫することで，利用者の増加に努めている。 今年度もコロナ対応により，施設運営においては難しい面も多々あったが，コロナ禍においても工夫して事業を行っていただくなど，柔軟に対応していただいた。 今後も住民の集会やレクリエーションのコミュニティ活動の拠点としての役割を担っていただきたい。